

【 社会制度政策教育研究領域 】

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
社会制度政策研究演習Ⅰ	4		修士論文執筆へ向けた準備セミナーである。問題意識、問題発見研究分野として可能性、分析方法、適用可能な理論、資料収集方法などについて講義する。
社会制度政策研究演習Ⅱ	4		修士論文を仕上げる最終年の演習であるので、執筆指導を中心にする。1年で終えた作業を踏まえ、精密で内容のある論文に指導する。
国際政治特論Ⅰ	2	高嶺 司	本講義は、過去数十年の急速な経済成長を背景に、国際社会における存在感を増しているアジア太平洋諸国（日本、中国、台湾、韓国、北朝鮮、ロシア、オーストラリア、ニュージーランド、ASEAN、南太平洋島嶼国）の国際関係を考察する。具体的には、アジア太平洋地域の複雑でダイナミックな国際情勢を、政治外交、経済協力、地域機構、民主化、社会変動、領土問題、安全保障、といった多角的な視点より考察し、21世紀の地域社会におけるアジア太平洋地域の役割と可能性、さらにその限界を展望する。
国際政治特論Ⅱ	2	高嶺 司	過去30年間、政治経済から文化や科学や環境に至るあらゆる領域において、グローバル化と称される「地球規模のスケールをともなった相互接続」が顕著となってきている。本講義では、グローバル化（Globalization）をキーワードに国際政治経済の動向と問題点を深く考察する。具体的には、地域統合、国際貿易と金融、安全保障、民主化と人権、貧困と開発、環境問題、NGO運動、情報通信革命、テロリズム、捕鯨問題、文明の衝突といった問題に焦点をあてながら現代の国際情勢を解説する。
開発経済特論Ⅰ	2	野崎四郎	一国の経済発展には「奇跡」と「驚異」もなく、一つの「王道」があるだけであり、それは質の高い労働者と先見性のある企業家、それと優れた官僚組織といわれている。この講義を通して奇跡とされる経済発展や経済開発について考えたい。

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
開発経済特論Ⅱ	2	野崎 四郎	<p>一国の経済発展には「奇跡」と「驚異」もなく、一つの「王道」があるだけであり、それは質の高い労働者と先見性のある企業家、それと優れた官僚組織といわれている。この講義を通して奇跡とされる経済発展や経済開発について考えたい。特に後期においては日本、沖縄も強く関係するアジアチャイナプラスワンの成長のトライアングルを検討したい。</p>
国際関係特論Ⅰ	2	仲地 清	<p>国際関係の理論、米外交政策、日本外交、沖縄と周辺諸国（地域）との関係、国際政治史、時事問題などからテーマ」を選び、セミナー式の講義をする。</p>
国際関係特論Ⅱ	2	仲地 清	<p>私の専門領域である安全保障、戦争と平和、日中関係、沖縄の戦後政治史などを中心とした講義で、修士論題の選択へ向けて、学生の基本的な知識とモチベーションを高める。</p>
地域開発政策特論	2	宮城 敏郎	<p>経済のグローバル化、高度情報化（IT革命）の急速な進展に伴って地域の経済環境は大きく変化しており、従来の中央集権的タテワリ行政システムの中で地域の開発政策を考えるのは困難である。</p> <p>本講義においてはこうした状況を踏まえ、経済的自立の条件とは何か、産業集積のメカニズムとは、競争優位を創出するためには何が必要か等、地域の視点（「地方の時代」）から経済の発展について考えていく。後半は実際に沖縄振興開発計画等にふれつつ、開発政策が沖縄の経済的自立にどう影響しているかについて考察していく。</p>
都市政策特論	2	高嶺 晃	<p>都市計画（まちづくり）の「基本理論」をもとに「事例視察」を相互に行い計画と実例を実感させる、また、時代のニーズによる「まちづくりの変遷」等から「計画論」と「実現性」の紹介。</p> <p>「まちづくりのプレゼンテーション」の作成をセミナー方式により行う。</p>

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
地方自治特論	2	渡名喜 庸安	<p>わが国では、この間、地方分権改革が行われてきており、その進展に伴って、県から市町村への権限移譲が進められるとともに、都道府県の廃止を前提とする道州制の導入の議論も高まりを見せている。地方分権改革の課題は、単に地方制度の改革に止まらず、「国のかたち」を変える方向で進められており、国家的感心事ともなっている。ひるがえって、地方分権改革とはどのような改革なのだろうか、そもそも地方自治の存在理由というのは何なのだろうか。</p> <p>本講義では、こうした問題関心に基づき、地方レベルにおける統治団体（地方政府）である自治体（沖縄県や名護市など）について、「地方自治特論」というテーマのもとで、地方自治制度をめぐる改革論、自治体の仕事（事務）とこれを行う組織の仕組みや特徴、自治体の権能として重要な役割をもっている条例制定の問題、自治体における住民の地位や権利の問題について、その今日的状況と課題を明らかにするという観点から、講述していきたい。</p> <p>なお、講義の進捗を見ながら、地元の名護市役所（議会を含む）に赴き、講義で扱ったそれぞれの項目（組織や活動内容など）が名護市においてどのような仕組みになっているか、それが実際にどのように運用されているのか、議会の傍聴や議員ヒヤリングを実施する予定である。</p>